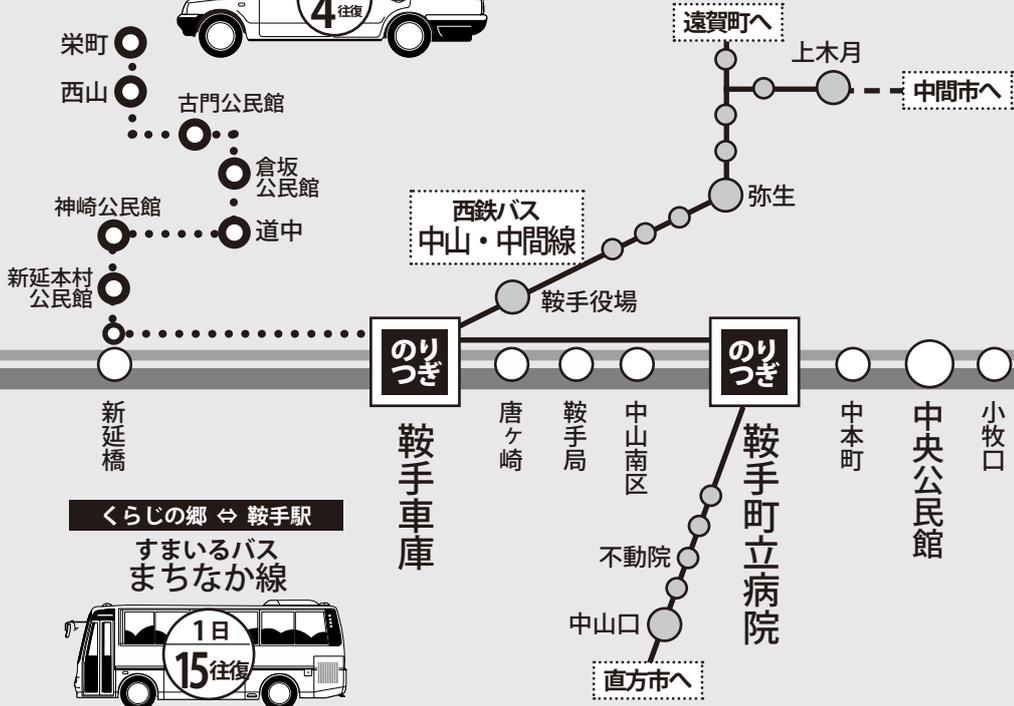


# 10月 から 町のバスが 変わります

コミュニティバスには「すまいる」、  
予約型乗合タクシーには  
「もやい」という愛称が付きまして。  
いよいよ10月から町の新しいバスが、  
実証運行を始めます。  
鞍手駅へのすまいるバスの乗り入れが  
15往復増えるほか  
くらじの郷、鞍手車庫、鞍手町立病院が  
西鉄バスとの結節点となり  
乗り継ぎがより便利になります。  
(運賃や運行時刻など詳しいことは、  
各世帯に配布する利用ガイドでお知らせします)

## 栄町 ⇄ 鞍手車庫 もやいタクシー古門線



## くらじの郷から鞍手駅までを15往復

すまいるバス（コミュニティバス）には、これまでのみやわか線に加えて、まちなか線を新設します。まちなか線は、くらじの郷・鞍手駅間を1日15往復します（休日は8往復）。みやわか線を含めれば、この区間を1日22往復することになります。朝夕の通勤・通学時間帯には、鞍手駅へ概ね30分間隔で運行します。

## まちなか線区間への乗り継ぎは100円

運賃は、現在と同じ利用した距離に応じて支払う距離別の運賃になります。ただし、西鉄バスやもやいタクシー（予約型乗合タクシー）から、まちなか線の運行区間（くらじの郷～鞍手駅）へ乗り継いだ場合には、運賃は100円になります。乗り継ぎ割引には



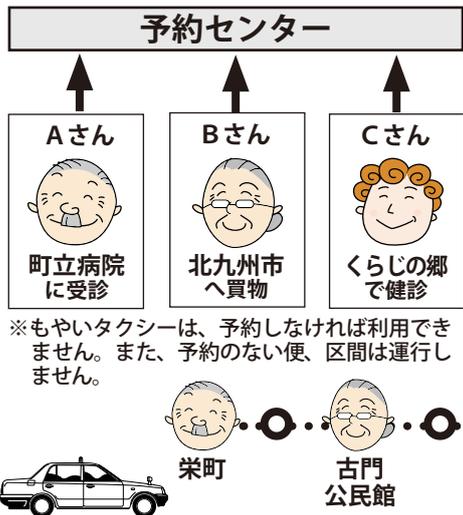
西鉄バスやもやいタクシーの車内で発行する「乗り継ぎ割引券」が必要です。乗り継ぎ割引券は、西鉄バスやもやいタクシーを利用し、鞍手町立病院や鞍手車庫、くらじの郷で乗り継ぐ場合に希望者に配布します。乗り継ぎ割引券は、ミシン目の入った往復券になっていて、受け取ったその日に限り有効です。



# もやいたクシーの 利用には予約が必要です

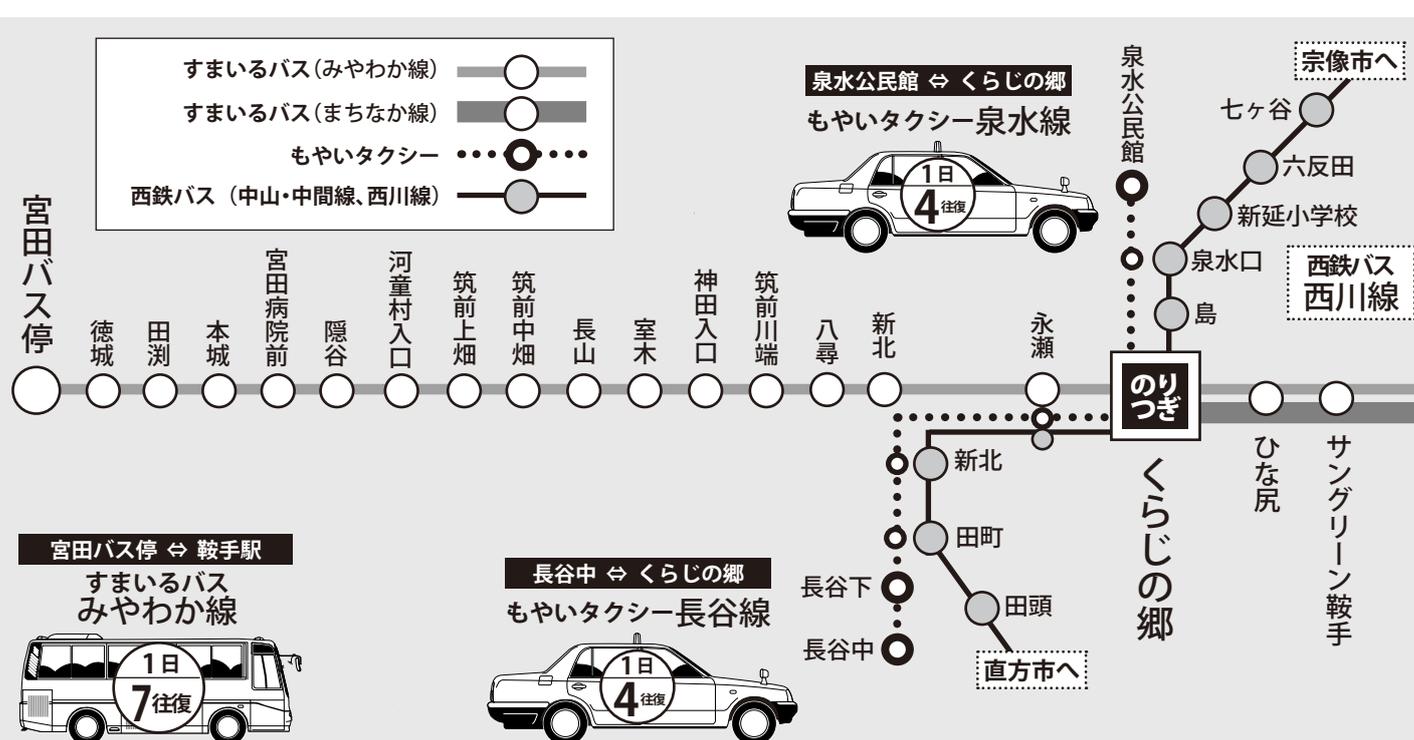


図① 予約から利用までの流れ(古門線の場合)



※もやいたクシーは、予約しなければ利用できません。また、予約のない便、区間は運行しません。

- ① 前日の午後5時までに電話で予約します (午後5時以降の便は当日の午前11時まで)
- ② 利用日当日、発車時間までに乗り場に集合します
- ③ 各乗り場から乗り合わせて、鞍手車庫で下車します (もやいたクシーの運賃を支払い、乗り継ぎ割引券を受け取ります。鞍手車庫以外でも下車できます)
- ④ すまいるバス (コミュニティバス) に乗り継ぎ、目的地で下車します (乗り継ぎ割引券でくらじの郷から鞍手駅までの間の運賃は100円になります)
- ⑤ 帰日も同様に鞍手車庫から予約したもやいたクシーに乗車します



## 古門線、長谷線、泉水線が1日4往復

西鉄バスやすまいるバス (コミュニティバス) などの公共交通機関の利用が困難で、これまで交通空白地帯となっている古門地域の一部や長谷、泉水地域をカバーするため、もやいたクシー (予約型乗合タクシー) を運行します。

運行回数は、平日が4往復、土、日、祝日などは2往復です。また、運行時刻は、午前中に3往復、午後1往復を予定しています。

## 予約した人が乗合い。利用料金はバス運賃

もやいたクシーの利用には、予約が必要です (予約から利用までの流れは図①のとおり)。また利用料金は、西鉄バスに準じ、距離に応じて支払う距離別の運賃になります。

## 利用者は町民に限定。登録カードを発行

もやいたクシーを利用できる人は、鞍手町に住所を登録している人に限ります (町外の人には利用できません)。利用を希望される人には、次のとおり「もやいたクシー利用者登録カード」を発行します。

- 申請受付 平成23年9月15日 (木) から随時
- 申請場所 企画財政課地域振興班 (役場2階)
- 必要なもの 印かん、本人確認ができるもの

